

／備えて安心／

年末年始の 防犯対策

何かと慌ただしくなる年末年始は、各種犯罪が多発する傾向にあります。

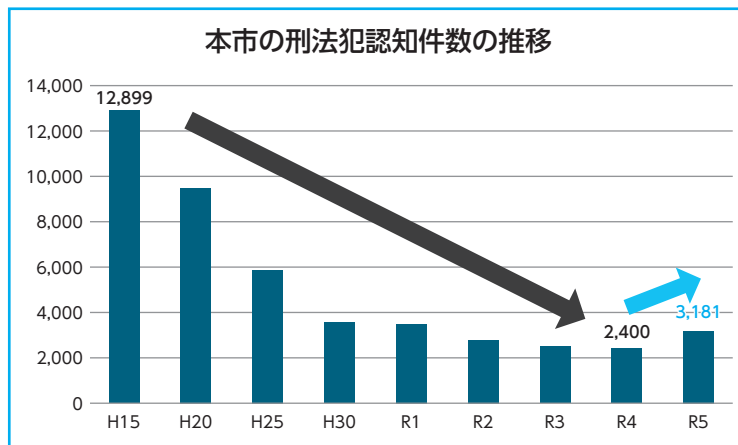
「自分だけは大丈夫」と油断せずに、今すぐ防犯対策を始めましょう。

☎生活安心課 ☎(632) 2137

⚠ 犯罪（刑法犯認知件数※）が増えています

本市の「刑法犯認知件数」は、過去最多である平成15年から令和4年までに、約5分の1まで減少していましたが、コロナ禍が終息し、人の行き来が増加したことなどを要因に、令和5年から、再び件数が増加してきています。

※ 警察などの捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数。



こんな犯罪に注意

県警察では、「特殊詐欺」や「SNS型投資・ロマンス詐欺」など、特に対策が必要な犯罪を「重点抑止犯罪」として、注意を促しております。皆さんも、以下の内容を参考に、防犯対策に取り組みましょう。

犯罪・特徴	対策	犯罪・特徴	対策
特殊詐欺 電話やメールなどで相手を信用させ、振り込みなどの方法で現金などをだまし取る犯罪（オレオレ詐欺、還付金詐欺など）。	▼「電話番号が変わった」「代理人がお金・キャッシュカードを取りに行く」「ATMで払い戻し」「今日中にお金が必要」などの、詐欺の決まり文句に注意する。 ▼訴訟を告知するようなはがきや封書が届いたら詐欺の可能性が高いので、必ず誰かに相談する。相手が官公庁などを名乗ったら、電話帳やホームページなどで確認する。	わいせつ 夕方から夜間にかけて発生が多くなる。	▼できるだけ人通りの多い明るい道を選び、もしものときに逃げられる場所を確認・把握する。 ▼スマートフォンを見ながら歩いたり、イヤホンをして歩いたりすると周囲への注意が散漫になり、近づいてくる不審者や不審車両の発見が遅れるので「ながら歩き」はしない。
SNS型投資 SNSを通じ、投資に関するメッセージのやり取りを重ねて被害者を信用させ、最終的に「投資金」や「手数料」などの名目で、金銭などを振り込ませる詐欺。	▼SNSなどに出てくるウェブ広告に有名人・著名人が使われていたり、「絶対もうかる」といった表示があったりしても、詐欺だと疑ってアクセスしない。 ▼暗号資産や金融商品の取引は金融庁の登録が義務化されているため、個人名義の口座に振り込まない。一度も会ったことのない人にお金を渡さない。	自転車盗 被害者の多くが鍵を掛けていない。また大学生以下の学生の被害が多い。	▼自転車から離れる時は、短時間でも必ず鍵を掛ける。 ▼ツーロック（鍵を二重に掛ける）をする。 ▼自転車から離れる時は、前かごなどから荷物も持って行く。
ロマンス詐欺 SNSやマッチングアプリなどを通じて知り合った人と、直接会うことなくやりとりを続け、恋愛感情や親近感を抱かせ、金銭などをだまし取る詐欺。	▼「もうかる投資」と言われたら、まずは知っている最寄りの金融機関や警察などに一度確認をする。	車上ねらい 被害者の約半数は鍵を掛けていない。	▼自動車の中に荷物を置かないようにする。 ▼自宅の駐車場でも必ず鍵を掛ける。
		金属盗 導線ケーブルやグレーチング、室外機、給湯器、水道蛇口、給水バルブ、屋根などの被害が多い。	▼防犯カメラや光・音を発するセンサーなどの機器を設置する。 ▼太陽光発電施設や公園、神社、公民館などにおいて、「いつも停まっていない車がある」「何度も行き来している人がいる」「夜間に作業をしている」など、身近に違和感を感じたり不審な点があったりしたら、警察に連絡する。

2つのアクションで備えよう

Action 1 家庭で防犯

家族で話し合おう

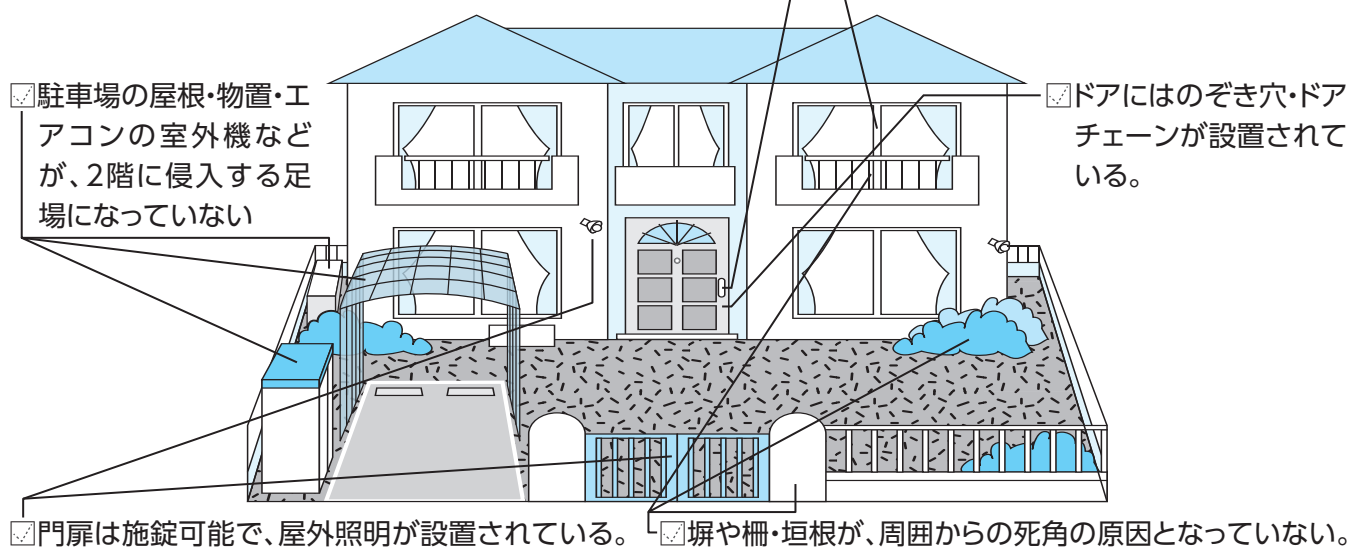


- ☒ 日ごろから、家族で防犯対策について話し合っている。
- ☒ 自宅・自転車・自動車の鍵掛けを習慣付けている。
- ☒ 日ごろから、近所であいさつや声掛けをしている。
- ☒ 地域の自主防犯活動に参加している。

- ☒ しっかり施錠している。

ポイント

- ▼ 鍵をピッキングに強いものに交換する。
- ▼ 防犯合わせガラス・フィルムを設備する。
- ▼ 玄関に補助錠を取り付ける。
- ▼ 就寝時も窓を閉める。



ポイント

- ▼ 人が近づいたとき反応して点灯するセンサー式ライトの設置も効果的。

ポイント

- ▼ 塀、植栽はできるだけ低くする。
- ▼ ベランダの手すりは見通しのいい格子タイプに変える。
- ▼ 庭木、植栽の手入れは小まめにする。

Action 2 地域で防犯

■一戸一灯運動を全市で実施します

家庭の玄関灯や門灯を点灯させ、「まちを少し明るく」することで、地域全体で防犯に努める一戸一灯運動を12月11日～令和7年1月3日の約1カ月間実施します。

「住民みんなで防犯活動に取り組んでいる」ということを示し、犯罪のないまちをつくりましょう。



■地域で協力し防犯に強いまちへ

地域内であいさつが活発に交わされ、コミュニケーションが緊密なまちは、犯罪者から敬遠されます。日ごろから地域ぐるみであいさつを交わし、犯罪の未然防止に努めましょう。

一方で、落書きやごみの散乱、放置自転車など環境の乱れた地域を犯罪者は狙います。こうした乱れを地域で改善しながら、犯罪者を排除しましょう。

不審な人がいたら、110番通報するなど、子どもたちの安全確保に努めてください。また、一人で遊んでいたり、遅くまで遊んでいたりする子どもがいたときは、早く帰るよう促してください。